

シルクの木目を持つ木

絹のような光沢のあるリップルマーク（さざなみ状の模様）の木目が出るのが特徴で、昔から木目や艶の美しいものは茶道具や工芸用材料として珍重されてきた。果実の柿の食用の歴史は古く、縄文時代の遺跡からも出土しており、現代でも柿餅などにされる。小学校の国語の教科書にも採用されている児童文学『モチモチの木』は、このトチの木である。



ケヤキ

寺社仏閣に使われる神聖な木

耐湿、耐候性に優れるため、日本古来より建築材、家具材、構造材などに多様され、寺社仏閣や高級住宅の大黒柱としても使用されてきた。国会議事堂内は彫刻の施された檜が使われている。ちゃぶ台、茶筆筒、仏壇の最高級品の代名詞。ケヤキ製の汁椀は、汁が冷めずに手で持っても熱くなく、落としても欠けない日常道具の名品。大樹になり、樹齢1500年で特別天然記念物に指定されている木もある。



モンキーポッド

この一木なんの木

テレビCMでおなじみの「この一木なんの木気になる木 ♪」に登場する木で、アメリカ合衆国ハワイ州オアフ島にあるモアナルア・ガーデンパークで見ることが出来る。樹形は大きな傘を広げたようなので絶好の日陰をつくる。濃色の独特の縞が現れる。耐久性が強い。



ITAKURA
Japanese Premium Wood

ウォールナット

アメリカの大統領演説を支える木

世界三大銘木の一つで、ヨーロッパ家具の歴史では、ウォールナット製品が大きな人気を博し「ウォールナットの時代」と一世を風靡した。木理が美しいため、アメリカ合衆国大統領の指揮台やアメリカ合衆国最高裁判所のベンチに使用されるなど、古くから高級材として家具や工芸用材として用いられ、衝撃に強いことから銃床材としても重用。



クス

古事記に登場する軍船の木

木肌は緻密で、耐湿・耐久性に優れる。大木になり非常に綺麗な杣目をしているため、仏像彫刻に多用される他、壮大な木目から寺社建築に好んで使われ、欄間や彫刻に使われる。防虫剤として薬効のある樟脳が採れるため、古くから葉は防虫剤、鎮痛剤として用いられ、作業の際に桶を携帯していたという記録もある。虫害や腐敗に強いため、古来から船の材料として重宝された。



カエデ

紅葉が美しい木

カエデの名称は、葉がカエルの手に似ていることから「カエルデ」と呼ばれたことに由来する。色目が美しいので、艶出し加工をすると、さらに美しく仕上がるため、家具材、床材、楽器材、バットの材料にも多く使用される。日本のカエデの代表はイロハモミジであるが、海外ではメイプルシロップのとれるシュガーメイプルが最もよく知られている。



クリ

古代から日本人になじみ深い木

縄文時代から日本の主要な食料資源として重宝されてきた木。耐久耐水性が強く明瞭な年輪が美しいため、家具材や床材などにも使用される。耐久性の高さから風雨にさらされる鉄道の枕木に使われ、かつては銃床の材料として広く用いられた。漢字が「西」と「木」の組み合わせであることから西方浄土になぞらえて位牌などの仏具に使用されることも多い。



ヤマザクラ

江戸時代から珍重される和の高級家具材

深い緑の縞模様があり、加工性が良く磨くと光沢が出てくる。耐水、耐虫郷土があり日本に存在する桜の中でも最も品質が良いとされる。江戸時代の浮世絵や書籍印刷版木はヤマザクラで作られた。現代でも高級家具、ピアノ外装、仏壇材料に使われ国会議事堂の本会議室机に使われる。黄色、緑色、薄いピンクが点在して色々な色を持っているが、時間が経つにつれ飴色に変化していく



野球のバットの木

年輪は明瞭で美しい杢目を有するため、家具や小物に人気のある樹種。やや重硬で、弾力性を有するため野球のバットやラケット、スキー板などに使用される。富山でタモがとれるため、バット産業が盛んになったといわれる。樹皮は漢方薬とされ、止瀉薬や結膜炎時の洗浄剤として用いられる。



イチョウ

古代から地球を見ている木

イチョウ科の植物は中生代から新生代にかけて繁栄し日本や世界で化石が出土しているが、氷河期にほぼ絶滅し、唯一現存する種である。火に強いので幹が焼け焦げても再生し、大気汚染などの公害に強く、病害虫に強いので、街路樹として日本で最も多く植えられている木。材質は全体に緻密で美しく、加工しやすいので、まな板などの器具材、木魚などの彫刻材、洋服の裁板、碁盤、将棋盤にも使用される。



ヒノキ

伊勢神宮の式年遷宮に使われる木

耐湿、耐水性が良く、建材として最高品質のものとして、芳香を長期にわたって発する。古くは古事記のスサノオ神話でヒノキを建材として使用しており、寺社仏閣材として重宝されてきた。飛鳥時代のヒノキの建築は1,000年を超える寿命を保つものがある。国宝の仏閣彫刻にも使われている。伊勢神宮の式年遷宮など神宮の用材に用いるところから「霊（ひ）の木」、太陽を表す「日の木」を語源とする説がある。



スギ

日本建築に欠かせない木

木目は鮮明でまっすぐとしていて、日本では古来から重要な木材として日本建築に多用されてきた身近な木。特有の芳香を有し、杉樽に貯蔵することによって日本酒に香りをつけたりすることもある。本居宣長は、スギは傍らにはびこらず上へ進み上る木として「進木(ススギ)」を名前の由来としている。樽、桶、工芸品、割り箸、曲物などの小物にも使われる。

